

LIFE TIMES



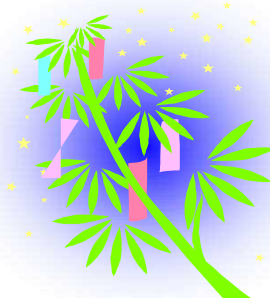
平成27年7月1日(水)発行 【隔月(年6回)発行】

発行部署 : ソリューション営業第2本部ソリューション営業部
住所 : 東京都港区芝大門一丁目1番30号
電話番号 : 03-5408-4600
発行責任者 : 日高 和重
お問合せ窓口 : 石山 義裕

第118号

【目次】

1. 水島支社 太陽光発電装置設置 本格稼働
2. 2014年度 省エネ実績 報告
3. トラック乗務員の人材確保・育成について
4. 新組織のご紹介 ~包装・資材事業本部~
5. 場所紹介 ~長浜支店(滋賀県長浜市)の巻~
6. 運輸システムEXPO 参加報告
7. 包装資材の製品紹介(プラツバ)



1. 水島支社 太陽光発電装置設置 本格稼働

当社では昨年9月から水島支社の倉庫屋根に太陽光パネル設置工事を進めてきましたが、本年2月に完工し、3月から売電を開始しました。水島支社のある瀬戸内海地域は全国的に見ても日射量が多く、太陽光発電には好条件の地域といえます。当社としては首都圏ロジスティクスセンター、鹿島支社に続き3件目となる今回は、約10,000m²(パネル4,200枚)で1MWというメガソーラー規模の発電能力となります。

倉庫の屋根を利用した太陽光発電は、比較的広い設置面積を確保できる事、夏場の庫内の温度上昇を抑制する効果がある事などから、相性の良い組み合わせといえます。

このたび稼働した水島支社の太陽光発電に加え、当社では今後も再生可能エネルギー活用に関与していきたいと考えています。

◆◆当社の太陽光発電の状況◆◆



設置場所		発電能力
埼玉県	首都圏ロジスティクスセンター (自社投資)	0.1 MW
茨城県	鹿島支社 (屋根貸し)	2.5 MW
岡山県	水島支社 (自社投資)	1.0 MW



1MW(メガワット)のメガソーラーで、概ね年間100万kWhの発電量が見込まれます。
これは一般家庭 約280世帯分の消費電力に相当します。

2. 2014年度 省エネ実績 報告

当社は特定荷主(※) 様への報告用や3PL事業者としての省エネ推進及び自社の省エネ活動推進の為に、輸送におけるエネルギー使用量を算出するシステムを構築し運用しております。

この度2014年度の当社エネルギー使用実績がまとまりましたので掲載致します。

まず、全体の原単位については対前年比で0.38KL/百万トンキロ悪化しました。部門別に原単位を見ますと、トラックが対前年比で0.7%、内航船は3.0%悪化しております。

この主な要因ですが、

①陸運部門については、輸送量の減少によるロットダウンが影響していると考察しております。

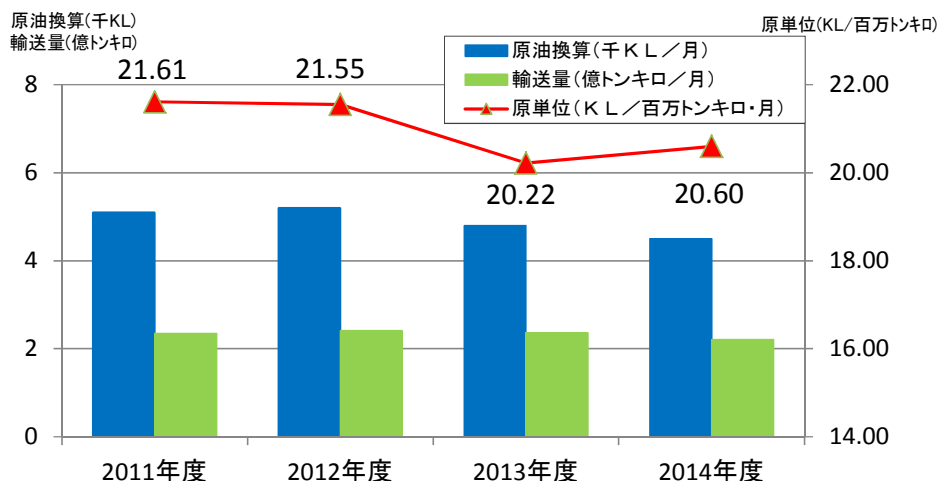
②海運部門は、プラントの

大型定期修繕に伴い、船輸送が減少したことにより原単位が悪化したと考察しております。

今後は、原単位向上を図るために、内航船の輸送ロットアップ、モーダルシフトの推進(JR輸送)を荷主に提言し、省エネ活動に取り組んでまいります。

※年間輸送量3,000万トンキロ以上の荷主

エネルギー使用原単位削減実績



3. トラック乗務員の人材確保・育成について

近年のトラック乗務員の労働環境は長時間労働であり、かつ賃金も低い状況にある為トラック乗務員の人材不足、高齢化が深刻な社会問題となっております。

その対策として5月28日、国土交通省と厚生労働省は「トラック乗務員の人材確保、育成に関する国土交通省、厚生労働省連絡会議」を開催し、トラック乗務員の人材確保、育成に向けた対応策として「魅力ある職場づくり」、「人材確保・人材育成」をまとめ公表しています。

「魅力ある職場づくり」

トラック乗務員の処遇を改善し安心して働けるための環境整備

取組み

- 取引環境、長時間労働、賃金等の労働条件の改善
- 雇用管理の知識習得、実践の推進
- 雇用管理に資する助成制度の活用促進
- 現場の安全管理の徹底

「人材確保・人材育成」

トラック運送業界への入職を促すためトラック運送業界の魅力の向上や人材育成等に向けたきめ細かな直接的な取組みを実施

取組み

- トラック運送業への入職促進
- 女性の活躍促進
- 関係団体等との連携による人材育成、定着支援の推進
- 事業主等による人材育成の推進

また、上記内容のパンフレット(※)も作成しており、トラック乗務員の確保、定着に向けて活用が見込まれる助成金を案内しています。この対策によりトラック乗務員の雇用確保とより良い労働環境になっていくことを期待します。 ※国土交通省・厚生労働省ホームページより

4. 新組織ご紹介 ～包装・資材事業本部～

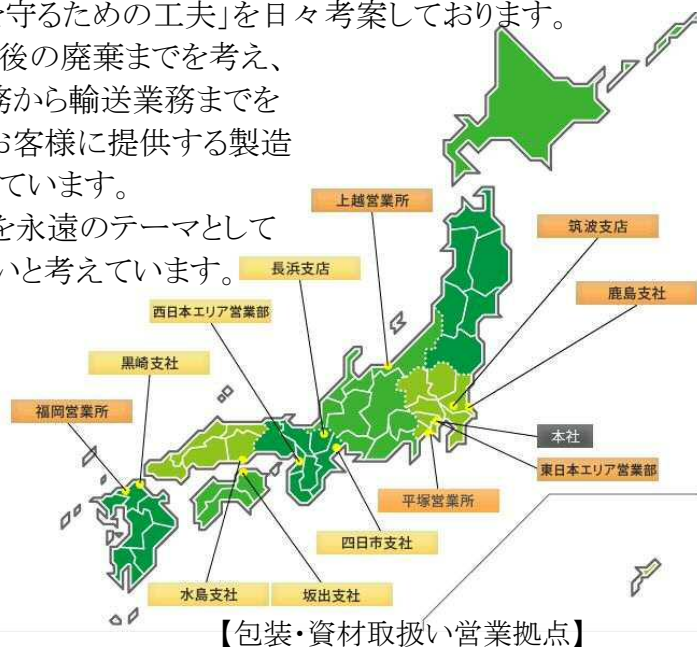
前回117号にて2015年4月1日付で当社とダイヤ資材社の事業を統合し、新たに包装・資材事業本部が発足したことをご連絡致しました。本社をはじめとする各拠点に包装資材事業を所管する組織を新設し、全国13拠点、約70名が包装資材の仕入れ、販売の業務を主に行っています。

私たちの使命は、お客様の「大切な物」を安心と信頼で包む商品をお届けすることだと考えております。包材の原点に戻り、私たちが目にするあらゆるものを、時を変え場所を変えてサポートするのが包装物流資材であり、材質や形態が進歩しても「大切なものを守るための工夫」を日々考案しております。

当部署は、次の工程、次のお客様、リサイクル、最後の廃棄までを考え、さらに荷主様の製品を包装、保管する構内物流業務から輸送業務までを担っている物流部門とコラボレーションすることで、お客様に提供する製造支援と物流の一气通貫サービスを提供できると考えています。

より高い品質の包材を適正な価格で提供することを永遠のテーマとして取り組み、お客様や社会により一層貢献していきたいと考えています。

【商品の一例】



5. 場所紹介 ～長浜支店（滋賀県長浜市）の巻～

4月1日より新たな当社の拠点として、長浜支店が発足しました。2つのグループ(長浜・山東地区)で計14名(男性7名、女性7名)が在籍しており、主に包装資材の販売業務を行い日々奮闘しています。

当支店がある長浜市は、元々は「今浜」と呼ばれていましたが、天正3年(1575年)頃に豊臣秀吉が織田信長の「長」をとって「長浜」と改称したそうです。人口約12万人、滋賀県湖北地方の中心地として琵琶湖と伊吹山に挟まれた自然豊かなところで、冬は市街地で1mも積雪があります。滋賀県といえば日本で最大の面積と貯水量を持つ琵琶湖があり、県総面積の1/6を占めており、滋賀県を指して「湖国」と呼ぶことも多いようです(淡路島がスッポリと入る大きさ)。

また観光では、日本3大曳山祭りの一つで子供歌舞伎でも有名な曳山祭り(重要無形民俗文化財)、樹齢400年以上の梅の盆栽が展示される盆梅展、豊臣秀吉が築城した長浜城など戦国の名所が数多くあります。

特産品としての鮎寿司(ふなずし)は、フナを用いて作られる「熟れ鮎(鮎)」として有名で、滋賀県の郷土料理です。独特の風味で好みが分かれるようですが、食べず嫌いの方も是非、一度勇気を出して食されたらいかがでしょうか?癖になりますよ。他には地元で絶大な人気を誇るサラダパンが有名で、マヨネーズで和えた刻みたくあんをコッパンに挟んだ惣菜パンです。素朴な味と触感が見事にマッチし一度食べると止まらないおいしさです。

大阪一名古屋の大都市に挟まれている、見(味)どころがたくさんあり、お近くにお越しの際は是非お立ち寄り下さい。



【曳山祭り】



【琵琶湖の夕日】



【長浜城】

6. 運輸システムEXPO 参加報告

2015年5月27日～29日までの3日間、東京ビッグサイトで開催された「運輸システムEXPO 2015」に参加致しました。

本展示会はトラック/バス/タクシーなど運輸・運送業界における「安全運転」「運行管理」等を主なテーマとして、それらに関する最新のシステム・製品・技術を集めて開催されました。

居眠り防止システム、衝突防止支援システムなど、安全で効率的な運行をサポートする製品が数多く展示され、様々なシステムを実際に操作、体感することで技術の進歩を実感しました。

一方で、これら最新システムは、未だ高価なものも多く、運輸業界の大多数を占める中小企業にまで広く普及するには、時間が掛かりそうです。

ドライバー不足や高齢化といった課題にとっても、安全や効率的な運行を支援するシステムの導入は、有効な解決策の一つであり、今後、導入に関する国土交通省等の補助制度などがさらに充実することが期待されています。



7. 包装資材の製品紹介(プラツバ)

当社の包装・資材事業本部の主力商品である「プラツバ」をご紹介します。

プラツバとは各種フィルム類の包装、保管、輸送に使用されるプラスチック製の「ツバ」(宙吊り梱包資材)であり、当社では輸入業務と国内生産を手掛けております。

それまでのワンウェイで使用される木製と比較すると、プラツバは回収して再使用が可能のため環境に優しく経済的であり、木クズ・虫・カビ等の心配が無くとても衛生的です。さらに、パレットのモジュール化が可能な為、物流効率の向上にも繋がります。

プラツバは9サイズ22種類のバリエーションを揃えており、今後もお客様の多様なニーズに幅広くお応えできる商品・サービスの提供に努めて参ります。

お問合せ先 包装・資材事業本部
TEL : 03-5408-4700(代表)



編集後記

ソリューション営業部 石山 義裕

今号が出る7月になると富士山が山開きになり、夏山シーズン到来で楽しみにされている方も多いのではないかと思います。

ただ一方、皆様も記憶に新しい昨年の御嶽山を始め、今年も箱根山や口永良部島、浅間山など火山が活発化したり、噴火に至るケースが相次いでいます。従い、登山をされる皆様は事前に情報を収集し、移り変わりの激しい山の天気にも備えた準備をして、楽しまれていると思います。

我々物流も、お届け先の情報や道路状況を事前に確認し、養生材を備え荷物を無事にお届けするという点において登山と似通った点があると感じました。「段取り8分仕事2分」で事前に不安全点を改善することで、お客様に満足されるよう努めて参ります。